

今週の朝礼より

朝晩の寒さが増し、季節は徐々に秋から冬へ移り変わっていくことを感じます。モミジ等の紅葉はそろそろ終わりのようですが、本校にあるイチョウは、黄葉がやっと始まったばかりです。イチョウは、落葉してからも地面に散った様子がきれいで、長く楽しめます。

これからの季節、落葉樹は幹や枝のみとなりますが、地面の下には根があります。相田みつをさんの詩に、

「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえないんだなあ」というものがあります。見えない地面の下の根の大切さが分かります。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」という言葉があります。日本女子陸上界初のオリンピック金メダリストの高橋尚子さんは、高校時代の陸上部の恩師の方から送られたこの言葉を胸に、結果が思うように出ないときも走り続けたそうです。今から18年前の2000年、高橋さんはシドニーオリンピックの女子マラソンで金メダルをとりました。しかし、高校時代は全国都道府県対抗女子駅伝の岐阜県代表に選ばれるのがやっとの選手だったそうです。高校を卒業後、社会人になってからマラソンに転向しましたが、3年間は思うような結果が出なかったそうです。そんなときに、監督から送られた言葉を胸に厳しい練習を続けました。結果が出なくてもあきらめず、苦しいときに踏ん張るからこそ根が伸びる。根を伸ばす努力を続ければ、やがて大きな花が咲くということです。

生徒の皆さんも、卒業・進級に向けて、根を深く、大きく、広く伸びるように何事にも取り組む努力をしてほしいと思います。

以下、朝礼の様子をお伝えします。

○ 生徒会役員より

今週で11月も終わります。来週はベーシックテストがあるので、体調管理をしっかりして今週も1週間がんばりましょう。

○ 伝達表彰

- 男子卓球部
全国中学校選抜卓球大会尾張地区予選：第2位

○ 湯澤先生の話

自動車の運転席から見えない範囲を死角といいます。大型トラックに限らず、乗用車にも多くの死角があります。改善はされてきましたが、構造上、乗用車のすべての死角をなくすことはまだできていません。その死角が原因と思われる事故はやはり起きています。よって、生徒の皆さんが死角を意識して、自転車に乗ったり歩行者として歩いたりしないと事故に遭う可能性があります。運転者から「見えているだろう」と自分が思っている、実際には見えていない場合があるということです。自分が直進をしようとしているところに左折車があった場合、自分の位置が死角になっていたら車と接触したり、巻き込まれたりする危険性があります。よって、私たちは「見えていないかもしれない」と思って、接触したり巻き込まれたりしないように気を付けなければなりません。死角は車だけでなく、街の中のいろいろな場所や状況からも生まれます。「見通しのよくない住宅街の交差点で、もし一旦停止を怠ったら・・・」「横断歩道だからといって、車と車の間から飛び出したら・・・」と様々な場所や状況での危険が考えられます。

もうすぐ12月です。年末に向けて世の中全体が慌ただしくなり、さらに寒さも加わってくると交通事故が心配です。「・・・だろう」ではなく、「・・・かもしれない」という意識をもって、自分の命は、自分で守ってほしいと思います。

